

LINEの活用法（LINEグループ）

1. 写真の共有・アルバム作成
2. ノート機能
3. グループ通話
4. 日程調整・投票
5. その他の活用術





LINEグループの概略

- 複数人のメンバーとつくる
- メッセージや画像、ファイルの送受信ができる
- その他、チーム運営に必要な機能がいくつもある
- メッセージのやりとりがひとつの流れに集約されるため、複数の話題が同時展開すると、わかりづらくなる（次ページ参照）
- 上記を解消するため、同じチームでも複数のグループをつくる場合が多い
- 後からメンバーを追加することができるが、追加されたメンバーは追加前のやりとりを見ることはできない

わかりづらくなるグループLINEのやりとり

A

広報チームです。ツイッターに今日のイベントのこと載せたいので
写真撮影した人はいますか？

B

企画チームです。今日のイベントの反省会をするので、10/22（土）
13:00にいつもの会議室に集合してください。

C

運営チームです。来週のイベント、スタッフ参加できる人いますか？

D

すみません。参加できません。

E

はい！

A

Eさん、撮影してくれましたか？

E

いいえ、会議に参加します！

LINEのオススメ活用術

(1)メンション

- グループ内で特定の人にメッセージを送る際に、@マークを頭につけて名指してメッセージを送る
- 名指しされた側は、表示がされるため気づきやすい

(2)リプライ

- 何に対する返信かを明確にするために、当該メッセージ部分を長押しして「リプライ」を選択してから、メッセージを送る
- 個人LINEでもグループLINEでもできる



メンション、リプライ機能を使ったコミュニケーション

- A** 広報チームです。ツイッターに今日のイベントのこと載せたいので写真撮影した人はいますか？
- B** 企画チームです。今日のイベントの反省会をするので、10/22（土）13:00にいつもの会議室に集合してください。
- C** 運営チームです。来週のイベント、スタッフ参加できる人いますか？
- D** **B** 企画チームです。今日のイベントの反省会をするので、10/22（土）13:00にいつもの会議室に集合してください。
- @Bさん
すみません。参加できません。



グループの活用① 写真の共有、アルバムの作成

- 写真のメッセージ送信やアルバムの作成自体は、個人LINEでもできる
- 活動の様子や状況をメンバー間で共有する
- メッセージ送信の写真は一定期間で削除されてしまうが、アルバムは残る
- メッセージ送信の写真は、後から追加されたメンバーは遡って閲覧できないが、アルバムは閲覧できる
- 1つのアルバムに入れられる写真は1,000枚まで、1つのグループで作ることができるアルバムは100個まで

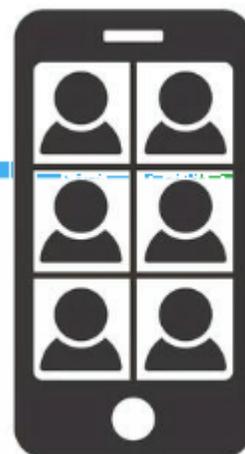
グループの活用② ノートの作成



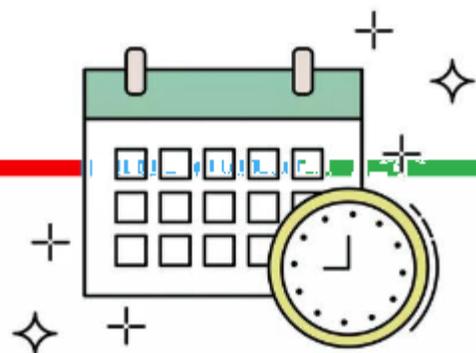
- ノートの作成自体は、個人LINEでもできる
- 後ですぐに引き出したい文章をまとめるために使う
(メッセージで送った文章はあとから引き出しづらい)
- 文章に対して、メンバーはコメントをすることができる
- ずっと残しておきたい記録やコメントを求めるような話題でノートを作る
- メッセージで送られた文章は、後から追加されたメンバーは遡って閲覧できないが、ノートは閲覧できる

グループの活用③ グループ通話

- 個別でできる通話（無料）をメンバー全員でできる
- 音声通話もビデオ通話もできる
- パソコン版では画面共有もできる
- 「みんなで見る」機能でYoutubeなどをメンバー同士で閲覧できる



グループの活用④ 日程調整、投票



- 【日程調整】 グループのメンバー内で会議などの日程調整をする際に、複数の候補日に対して、○△×で予定を確認することができる
- 【日程調整】 時間までは指定できない
→ 「調整さん」など、そのほかのサービスを使っている人も多い
- 【投票】 複数の選択肢からひとつまたは複数を選択させることができる
- 【投票】 選択肢はテキスト（文章）と日付の2種類で作ることができる

LINEのオススメ活用術



(4)パソコンでLINEを使う

- パソコン版LINEをLINEのホームページからダウンロードして設定
- メールアドレスを使ってログインする（アドレスの設定が必要）
- タイピングに慣れている方は、パソコン版の方が使いやすい
- ドラッグ&ドロップで画像やデータを送ることができる

乗っ取りや詐欺被害にあわないために（対応や特徴）

- 唐突に送られてきた、または意味がわかりづらいURLは開かない
- メールであれば、送り主のアドレスに注目すると、送信主と異なるドメイン（@以下の文字列）である
- 説明の日本語がおかしい、またはいつもの口調と異なる
- 不確実なサイトでパスワードや暗証番号は絶対に入力しない
- 不安がある場合は、別ルートで窓口にお問い合わせ

